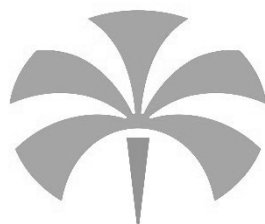


2025年度 学生募集要項

(学校推薦型選抜)
工学部 都市学科



学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合は以下の Web サイトで公表しますので、随時確認してください。

○大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



2024年7月
大阪公立大学

目 次

大阪公立大学の3つのポリシー	1
〔1〕 募集人員	3
〔2〕 出願要件等	
1 出願資格	3
〔3〕 出願手続	
1 出願方法	4
2 出願期間	4
3 出願書類等	4
4 出願についての注意	5
5 受験票等の送付	5
6 受験上・修学上の配慮について	5
〔4〕 入学者選抜方法等	
1 選抜方法等	6
2 利用教科・科目及び配点	6
3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場	6
〔5〕 合格者発表	
1 合格者発表について	7
2 合格通知書及び入学手続書類	7
〔6〕 入学手続	
1 入学手続について	7
2 入学許可の取消し	7
〔7〕 学費（入学料・授業料）	
1 入学料	8
2 授業料	8
3 その他	8
〔8〕 経済支援制度について	9
〔9〕 その他	
1 個人情報の取扱いについて	9
2 個人別成績の情報提供について	9
3 過去問題について	9
4 注意事項	9

<出願書類所定用紙>

- ・払込取扱票
- ・入学願書等（入学願書・受験票・写真票・振替払込請求書兼受領証貼付台紙・宛名ラベル）

試験会場交通アクセス

問合せ先

大阪公立大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的・総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的・発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1年を前期・後期の2学期制とし、15週の授業期間と試験期間を設ける。

また大阪公立大学は、学生の学修成果を適切に把握するため、教育推進本部が定める「大阪公立大学における教育の内部質保証に関する方針」のもと、基幹教育科目と専門教育科目をそれぞれ提供する国際基幹教育機構と各学部（学域）においてアセスメントポリシーとアセスメントリストを定め、複数の評価指標・方法を用いて定期的に学修成果の評価を行う。また、国際基幹教育機構と各学部（学域）において、科目の到達目標の達成状況を基準にした成績評価ガイドラインを定め、各科目における成績評価を実施する。科目の到達目標および評価方法・評価基準はシラバスに明記する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の3要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

工学部

求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

都市学科

社会経済情勢、環境問題、災害対策、国際化などにより都市のあるべき姿は常に変化してきた。都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ、環境への負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した、豊かであつ災害などの外的インパクトにも強く柔軟に対応できる、安全・安心で機能的な都市、すなわち「持続可能都市」の実現が強く求められている。

都市学科では、この持続可能都市を探求し、またその構築および維持管理に係る技術について学び、それらの最先端課題について研究する。都市学科の教育研究対象は、人間社会の介在する公共空間であり、恵みと破壊をもたらす自然現象でもある。また、その課題は地域性ととともに普遍性を有し、その現象は微生物スケールから地球規模のスケールにいたるまで大きな幅がある。そのため、都市学科では工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 都市の成り立ちや機能、現状の課題について日ごろから興味・関心があり、社会全体の幸福に貢献できる人
- 2 数学や理科などの自然科学分野の基礎学力を有し、それらの工学的応用について関心がある人
- 3 地理や歴史、公民などの社会の基礎学力を有し、文明の汎用性と文化の固有性の双方を尊重し、学ぶことができる人
- 4 継続的に外国語を学ぶことができる人。また、入学後に日本語または英語による講義が受講可能であり、外国語資料の読解および英語での交流・発表に意欲のある人
- 5 都市に関わる問題について、対立する意見を公正に評価し、複合的な問題について多面的にとらえ、科学的根拠に基づきながら自身の意見を述べることができる人

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

【学校推薦型選抜】

都市学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、都市学科に必要な素質を有していること、工学の学修・研究に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を有していることを、出願書類（調査書、推薦書）、小論文および口述試験・面接の結果により評価する。

※工学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下を参照してください。

<https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/>



〔1〕 募集人員

1名

(募集人員に関する注意事項)

- ・総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

〔2〕 出願要件等

1 出願資格

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注）を2025年3月卒業見込みの者（留学等により、2024年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2025年3月31日までに修了見込みの者
- ② 大阪府内の高等学校等で、工業、農業及びこれらに類する職業教育を主とする学科（都市系、環境系、建設系、建築系関連学科）に在籍する者
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.3（5点満点）以上で、かつ「物理基礎」及び「化学基礎、生物基礎、地学基礎のうち1科目」を履修しており、本学の基幹教育科目・英語の履修が可能な英語の基礎学力がある者

※履修内容が、上記科目に相当する科目を含みます。

※関連する科目も履修科目として認める場合があります。上記科目を履修していない場合は、9月末までに高等学校等を通じて入試課（電話番号：072-252-6305）にお問い合わせください。

- ④ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数は、1名とします。

(注) 高等学校等は、下記に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
- ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2025年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査は出願期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、裏表紙の「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

〔3〕出願手続

1 出願方法

学校推薦型選抜の出願手続は郵送により行います。

2 出願期間

出願期間	送付先
2024年11月1日（金）～6日（水） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）

(注)・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。

・出願期間後に到着したものは、受理できませんので十分注意してください。ただし、2024年11月4日（月）以前の発信局（日本国内）消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。なお、出願書類が本学に到着したかどうかに関する問い合わせについては、一切応じませんので各自郵便局等で確認してください。

3 出願書類等

入学検定料等を支払い後、以下の書類を出願期間内必着で郵送してください。

(注)

- ・出願書類は、必ず次頁「(6) 宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。
- ・(*) マークがついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/doc/



書類種別	注意事項
(1) 入学願書	・受験票を受け取れる住所（連絡先）を記載してください。 (注) 合格者発表日までに住所に変更が生じた場合は入試課に連絡してください。
(2) 受験票	・記載漏れのないようにしてください。
(3) 写真票	・縦4cm×横3cmの写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。 ・写真の裏に学部、学科、氏名を記入してください。
(4) 振替払込請求書兼受領証	・入学検定料は30,000円です。 ・郵便局で、出願開始の1週間前から出願締切日までに本学所定の払込取扱票にて入学検定料を納付してください。「振替払込請求書兼受領証貼付台紙」に【振替払込請求書兼受領証】（コピー可）又は【ご利用明細票】を貼り付け提出してください。 (注) 入学検定料が振込まれていない場合、若しくは【振替払込請求書兼受領証】（コピー可）又は【ご利用明細票】が出願書類と共に提出されていない場合は、入学願書は受理しません。

(5) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(6) 宛名ラベル	宛名ラベルを市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて提出してください。
(7) 受験票送付用封筒	受験票等を送付しますので、市販の長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に郵便番号、住所、氏名を記載の上、434円分の切手を貼り付けてください。2024年4月現在の郵便料金（定形郵便84円＋簡易書留350円）です。郵便料金が改定された場合は、改定後の切手を貼ってください。※氏名には必ず「様」を付けてください。
(8) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（*）により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

4 出願についての注意

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、1つの大学、学部等に限られます。
- (2) 学校推薦型選抜出願者は、本学を含む国公立大学の一般選抜にも出願することができます。
- (3) 試験は、中百舌鳥キャンパスにて受験してください。
- (4) 出願完了後は、出願内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。
- (5) 提出された出願書類は、一切返却しません。
- (6) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。

【返還可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

※返還対象者には、出願期間終了後に返還方法等について入試課より連絡します。

5 受験票等の送付

出願手続を完了した者には、受験票等を簡易書留郵便で発送します。

(注)

- ・受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課（電話番号：072-252-6305）まで問い合わせてください。
- ・受験票は、個別学力検査実施の当日に必要となりますので、紛失しないように保管してください。

6 受験上・修学上の配慮について

- (1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

ア 相談の方法

次頁の「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

イ 事前相談及び申請期間 出願の1か月前まで

(注)上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

ウ 申請先及び問合せ先

大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス)

TEL : 072-252-6305 E-Mail : gr-nyu-ask2@omu.ac.jp

※メールには、受験上の配慮を希望する学科及び日中連絡がつく電話番号を明記の上、問い合わせてください。

(2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前(出願前)も修学上の配慮や支援に関する相談はアクセシビリティセンターで受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、裏表紙「修学上の配慮に関すること」の問合せ先に問い合わせてください。

※メールの場合は、アクセシビリティセンターへの相談内容、希望する学部・学域等(現時点の希望で可)を記載してお問い合わせください。

<アクセシビリティセンターWeb サイト>

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/>



〔4〕入学者選抜方法等

1 選抜方法等

- (1) 小論文、口述試験・面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)により総合判定します。
- (2) 個別学力検査等で指定した教科・科目を受験しなかった者は、合格判定の対象にはなりません。

2 利用教科・科目及び配点

試験の区分	教科	科目名等	配点
個別 学力 検査等	その他	小論文	50
	その他	口述試験・面接	50
	その他	出願書類	100
配点合計			200


3 選考期日等、試験科目・時間割、試験会場

2024年11月23日(土・祝)		試験会場
小論文 9:30~11:30(120分)	口述試験・面接 13:00~	中百舌鳥キャンパス

〔5〕合格者発表

1 合格者発表について

合格者の受験番号は、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/pass/	
---	---

発表日時	Web サイト掲載期間
2024 年 12 月 6 日（金）10:00	2024 年 12 月 6 日（金）10:00～2024 年 12 月 12 日（木）17:00

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

2 合格通知書及び入学手続書類

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送します。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続書類が入学手続指定日前日までに到着しなかった場合は、裏表紙「入学手続に関すること」の問合せ先まで申し出てください。郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続受付期間以降の入学手続は一切認めません。

〔6〕入学手続

1 入学手続について

入学手続は「郵送」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入学手続受付期間
2024 年 12 月 12 日（木）～17 日（火） 【必着】

- (1) 入学手続書類を郵送するまでに、入学料の納付が必要となります。
- (2) 入学手続書類は、上記受付期間内必着で郵送してください。持参による手続は行いません。
- (3) 上記受付期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (4) 合格者の入学辞退は認めません。ただし、入学できないやむを得ない特別の事情があるときは、入学手続までに出身学校長から「学校推薦型選抜入学辞退願」を入試課に提出し、本学の許可を得てください。なお、やむを得ない特別の事情がなく入学を辞退した場合は、翌年度以降、当該高等学校等からの学校推薦型選抜の出願を受理しないことがあります。
- (5) 上記(4)により入学を辞退した場合を除き、他の国公立大学・本学の学部・学域等の一般選抜（前期・公立大学中期・後期日程）を受験しても合格判定の対象とはなりません。
- (6) 本学に入学手続をした者は、それ以後、これを辞退して他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をすることはできません。また、他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をした者は、それを辞退して本学に入学手続をすることはできません。

2 入学許可の取消し

- (1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消します。

〔7〕学費（入学料・授業料）

学費（入学料・授業料）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。合格者に送付する入学手続書類に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、裏表紙を参照してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2025年4月入学者の場合、2024年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続日の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続書類送付時に案内します。

- ・入学料は、入学手続時まで所定の振込用紙にて納付してください。
- ・**入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。**
- ・入学手続完了後は、いかなる理由があっても入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。「高等教育の修学支援新制度」「大阪公立大学等授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付した上で入学手続をしてください。入学後、本制度による支援の対象者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。

2 授業料〔年額〕 535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料は年額の1/2を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定後の金額が適用されることがあります。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料金額及び引落日が異なることがあります。

3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。
- (3) 個人ノートパソコンの準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めております。新入生の皆さんは、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペックは、本学 Web サイトで公開しています。

※入学年度における必要スペックは、前年度の2月上旬に掲載予定です。

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/academic-calendar/index.html#pc>



- (4) 一部の学部・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、学部オリエンテーション等でお知らせします。

〔8〕経済支援制度について

本学には、授業料減免制度や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度に関する詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しています。

<大阪公立大学 経済支援制度>

https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/



〔9〕その他

1 個人情報の取扱いについて

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日及び高等学校等コードに限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達されます。
- (2) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、上記(1)のほか、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (3) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

受験者本人からの請求により、個人別成績を提供します。請求期間は、2025年5月8日（木）10：00～2025年6月6日（金）15：00までとします。請求方法等の詳細については、2025年4月1日（火）以降に本学 Web サイトを確認してください。

成績開示 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/score/



3 過去問題について

過去の入試問題の詳細については、以下の本学 Web サイトに掲載しています。

特別選抜 過去問題 ▶▶▶

https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/past-eq/



4 注意事項

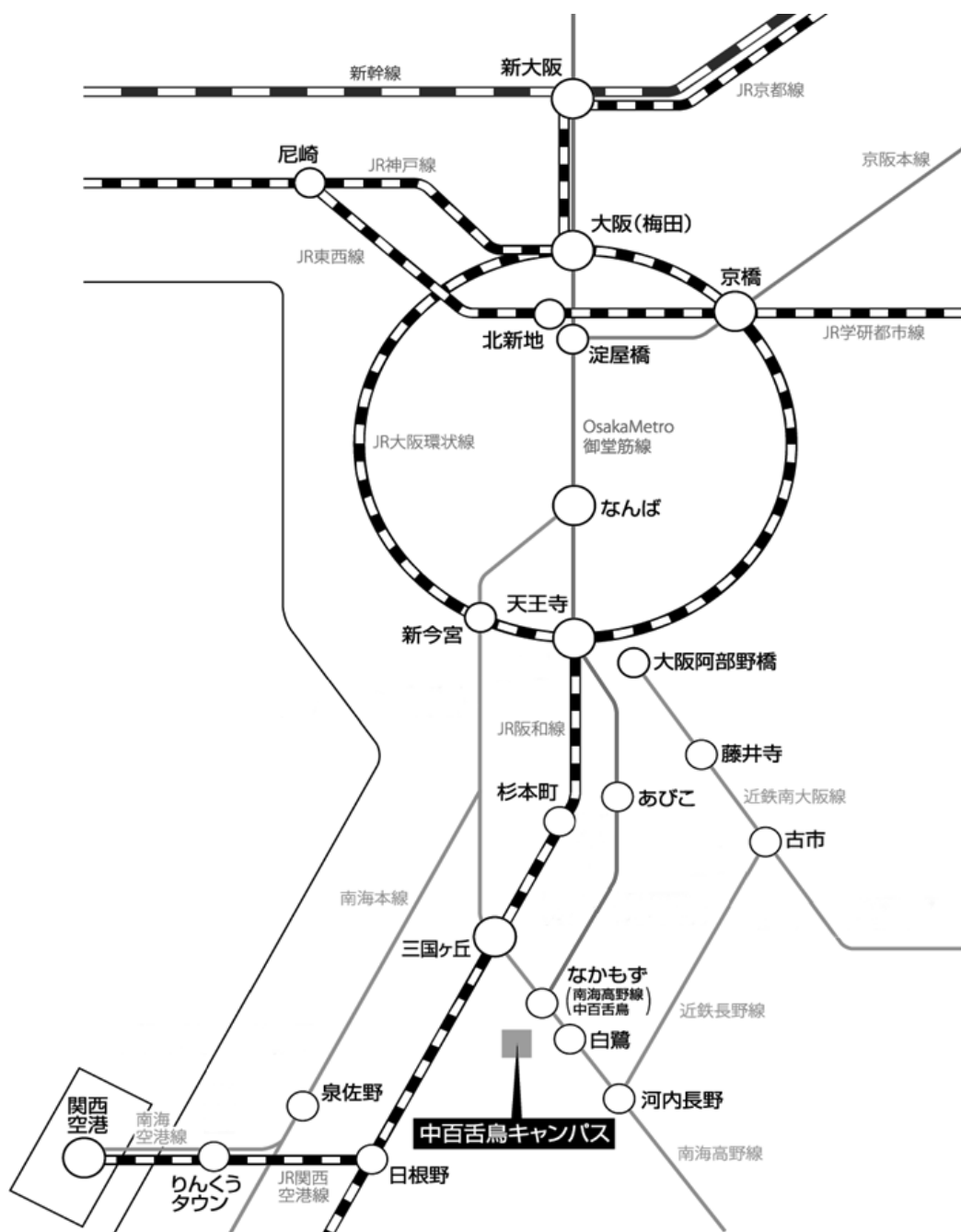
大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、以下の本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 緊急のお知らせ ▶▶▶

<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>

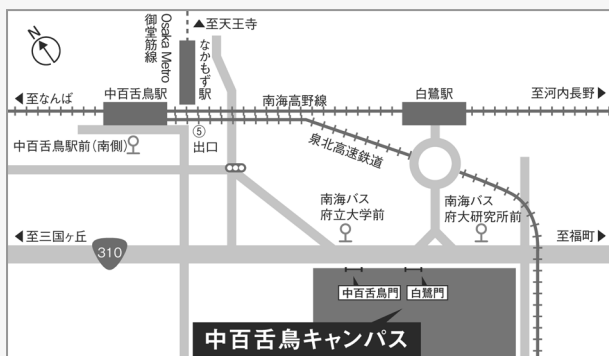


試験会場交通アクセス



■中百舌鳥キャンパス


〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号



- ・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分

問合せ先

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶▶ https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/exam_info/qa/	
--	---

事項	問合せ先	電話番号/E-mail
入試に関すること 受験上の配慮に関すること 入学手続・入学料に関すること	入試課 (中百舌鳥キャンパス)	072-252-6305 gr-nyu-ask2@omu.ac.jp
修学上の配慮に関すること	アクセシビリティセンター (杉本キャンパス)	06-6605-3650 gr-gks-ac@omu.ac.jp
授業料に関すること	学生課 (杉本キャンパス)	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp
経済支援制度に関すること		06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く） 9:00～17:00

【郵送先】

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課 (中百舌鳥キャンパス)

Web サイト

最新の情報は、Web サイトから確認してください。

大阪公立大学 入試情報サイト
<https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/>



 大阪公立大学
入試課
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL 072-252-6305 FAX 072-254-9902
2024年7月発行